

当院における新型コロナウイルス感染症に関するご報告(第14報:2021年6月11日更新)

本年5月21日を端緒とし、同月24日、北海道が集団感染事例として認定した、当院の新型コロナウイルス感染症の院内感染に伴い、患者様、ご家族をはじめ、地域住民、関係医療機関の皆様には、ご心配、ご不便をおかけし、深くお詫び申し上げますとともに、本事例につきまして、6月11日をもって対策期間が終了となりましたのでご報告いたします。

院内クラスタの概要としましては、5月21日に3階病棟の入院患者様から、最初の新型コロナウイルスへの感染が判明したため、直ちに「新型コロナウイルス院内発生対策本部」を設置し、6月11日まで、入・退院患者様及び関係職員等のPCR検査を1,077件実施した結果、計15名の入・退院患者様に陽性が確認され、この間、北海道感染症対策本部指揮室、根室保健所、市内及び近隣医療機関等からのご指導、ご支援をいただきながら、病棟内のゾーニングの設定、清掃・消毒、濃厚接触者の特定、健康観察、関係職員の自宅待機などを行い感染拡大の防止に努めたところであります。

更に、院内においては、これまでの感染対策の強化を図るとともに、入院時の抗原・PCR検査の拡充、関係部署における个人防护具の装着の徹底、面会禁止の継続など、再発防止に向けて更なる対策を実施し、事態の収束に向け取り組んで参りました。

今回の事例につきましては、現在も根室保健所による感染源や拡大経路などの調査が行われておりますが、根室保健所より関連した感染者の最終発生が確認された5月28日から、14日間の観察期間が経過する6月11日をもって対策期間終了と判断されたため、6月14日以降、3階病棟では入院の全面受入れを再開する予定であります。これまでの間、関係各位の皆様のご助力、ご支援に対しまして深謝申し上げます。

この度は、患者様、ご家族をはじめ、地域住民、関係医療機関の皆様には、ご心配、ご不便をおかけいたしましたことを、改めて、深くお詫び申し上げますとともに、今後とも、職員一丸となり、感染防止対策の徹底に取り組み、地域の基幹病院として、市民皆様が安心して医療が受けられるよう努めて参りますので、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、当分の間、入院については、緊急以外の受け入れについては制限を継続し、外来診療は、急を要さない新規の患者様や予約のない方について、受診をお控えいただくようお願いしているため、大変ご不便をおかけしておりますが、状態の安定している方などについては、電話診療も行っておりますので、希望される方はご相談・ご利用くださいますようお願いいたします。

2021年6月11日  
市立根室病院 病院長